



すぎ七

杉並区立杉並第七小学校

校長 齋藤 瑞穂

TEL 3392-6328

FAX 3393-7536

令和元年 10月1日 No. 504

準備の大切さ

副校長 菅野 至

東京オリンピック・パラリンピックの開幕まで約10ヶ月となりました。

先月の15日には、マラソンのグランドチャンピオンシップが行われ、代表男女各3選手のうち各2選手の代表が内定となりました。テレビで観戦をしていましたが、簡単に言葉では言い表せないほどの選手たちの真剣な走り、表情に心を奪われ、テレビの前に釘付けになってしまいました。男子の世界記録は2時間1分台。時速約20kmで走り続けていることになります。そのような速さで走っているアスリートの走るフォームやその姿には美しさも感じられました。

解説の方の話の中で、この大会のスタートラインに立てたことが、まず何よりすごいことだという話が印象に残りました。確かに、事前に出場できず残念ながら不参加になる選手が数人いました。練習が思うように進まない、タイムが伸びない、体調を崩してしまう、ケガをしてしまう、周りからの目に見えないプレッシャーとの闘い等、スタートラインに立つための準備の期間に数々の壁を乗り越えることができたからこそこの大会で走ることができる、と

いう元選手の立場から実感のこもった話でした。

また、ラグビーのワールドカップも先月20日開幕しました。現在、盛り上がっている満員のスタジアムの様子や迫力のあるラグビーの試合の映像をたくさん見るができます。ラグビー選手の身体は、スクラムやタックルに耐えるため、鋼を身に着けているかのように屈強な筋肉でおおわれています。そして、試合で見せてくれる選手同士の巧みな連携プレー。その裏には、相当な努力と様々な準備があったらろうことは容易に想像できます。

本校でも、学習発表会、6年生の連合運動会に向かっての取組が始まっています。来月には、5年生の連合音楽会もあります。その後には、児童に大きな充実感や達成感を味わわせられるように、結果だけでなく、そこまでに至った準備や過程を大切に、1日1日を重ねていきたいと考えています。

さて、地域、保護者の御協力をいただきまして、11月16日の90周年記念行事への準備も着実に進んでおります。

当日まで、あと50日を切りました。引き続き皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

90周年をむかえて



9月17日、体育館で校歌の録音を行いました。6年生の堂々とした歌声から1年生の元気いっぱいの声まで、全校の歌声が一つになり、体育館に響きました。

学校支援本部のご協力のもとCDに焼き、皆さんに配布する予定です。

校歌	明本 京静	作詞
むらさき匂う	安西 愛子	作曲
なごりもゆかし	阿佐谷に	
若木の杉は	はつらつと	
希望の泉	くみかわす	
杉並第七	わが母校	
遥かに望む	富士の山	
けだかき姿	そのままに	
学びはげみて	日本の	
明日の栄を	になうもの	
杉並第七	わが母校	